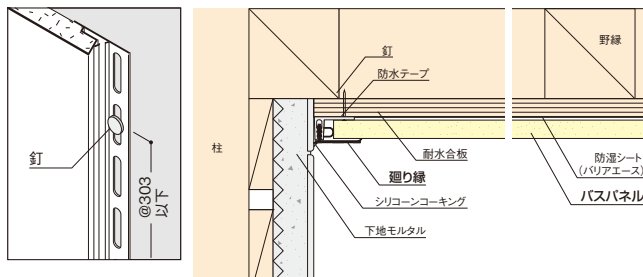


木下地施工

- 木野縁や耐水合板等の木下地に樹脂製バスパネルを施工する場合には、必ず釘打ち施工してください。
- 釘ピッチは303mm以下としてください。釘打ちは、長尺の中央に打ってください。(バスパネルの熱による伸縮を吸収します。)
- 物件用バスパネル(WJ, MR, BTJ)を釘で施工する際は、頭径φ5.5mm以上の釘を使用してください。
- 湿気による木下地の腐食を防ぐため、木下地とバスパネルとの間に防湿シート(バリアエース)を全面に貼ってください。シートのつなぎ目および隅部は防水テープを貼り、天井裏に湿気が侵入しないようにしてください。

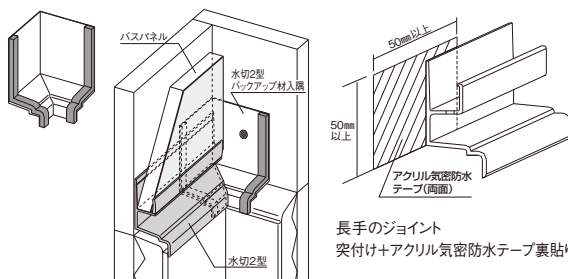


⚠️ 注意 施工時のご注意

- ロフトにより色調や光沢がばらつく場合があります。ご了承ください。
- 浴室の壁面に施工する場合、床タイル面および浴槽面より立ち上がり10cmはタイル仕様としてください。
- シャワーフックや棚を取り付ける場合は、下地がある場所に取り付けるか、中空用アンカーを取り付けるなどして十分に強度を確保してください。
- 下地の不陸や部材取り付け精度によって隙間が発生する場合があります。その際には、防カビ剤入りのシーリング材を充填して仕上げてください。
- 照明設備を取り付ける場合は、必ず下地を組み、隙間には防カビ剤入りのシーリング材を充填してください。
- 施工時に投光器を使用の場合は、バスパネルから1m以上離してください。反り、変形、変色の原因となります。
- 暖房用遠赤外線ヒーターにさらされると変色する場合があります。製造メーカーに確認の上、遮熱板などを購入し、パネルに直接熱が当たらないようにしてください。

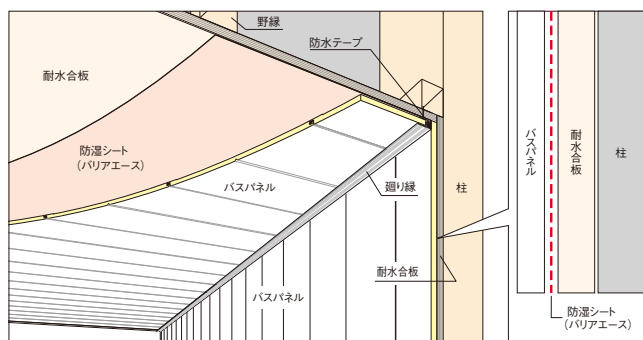
<水切2型 バックアップ材入隅(樹脂・アルミ兼用)>

- 防水性能を更に高めていただくために、水切入隅部に下地防水用のバックアップ材を別途用意しています。
- 突き付け施工となる水切どうしのつなぎ目には、防水テープを入れて防水性を高めてください。
- 壁面施工の際には、耐水合板厚み12mmに防湿シートを貼った後、バスパネルを施工してください。
- 水切2型用入隅をご使用の場合は、防水が確保できるため、バックアップ材は不要です。



<バリアエースの施工について>

- 防湿シート(バリアエース)の重ねしろは100mm以上とり、防水テープカスプレーのりにて密着させてください。
  - 壁面との境界(廻り縁周辺)は防水テープを貼ることで気密性を確保してください。
- ※気密上の一番の弱点と考えられる場所ですので、より確実な施工をお願いします。



樹脂部材納まり図

部材名	1 廻り縁	2 コ型廻り縁	3 ツイン廻り縁3型	4 入隅S
納まり				
部材名	5 サニタリーゾーン入隅	6 入隅	7 出隅2型	8 見切S
納まり				
部材名	9 見切	10 カウンター見切	13 水切2型	18 ジョイント
納まり				

●掲載価格には消費税は含まれておりません。 ●商品の色は、印刷と実物の色調とでは多少異なる場合がありますのでご了承ください。  
●離島配送の際は別途運賃を申し受けます。対象地域につきましては弊社ホームページまたは最寄りの営業所にご確認ください。